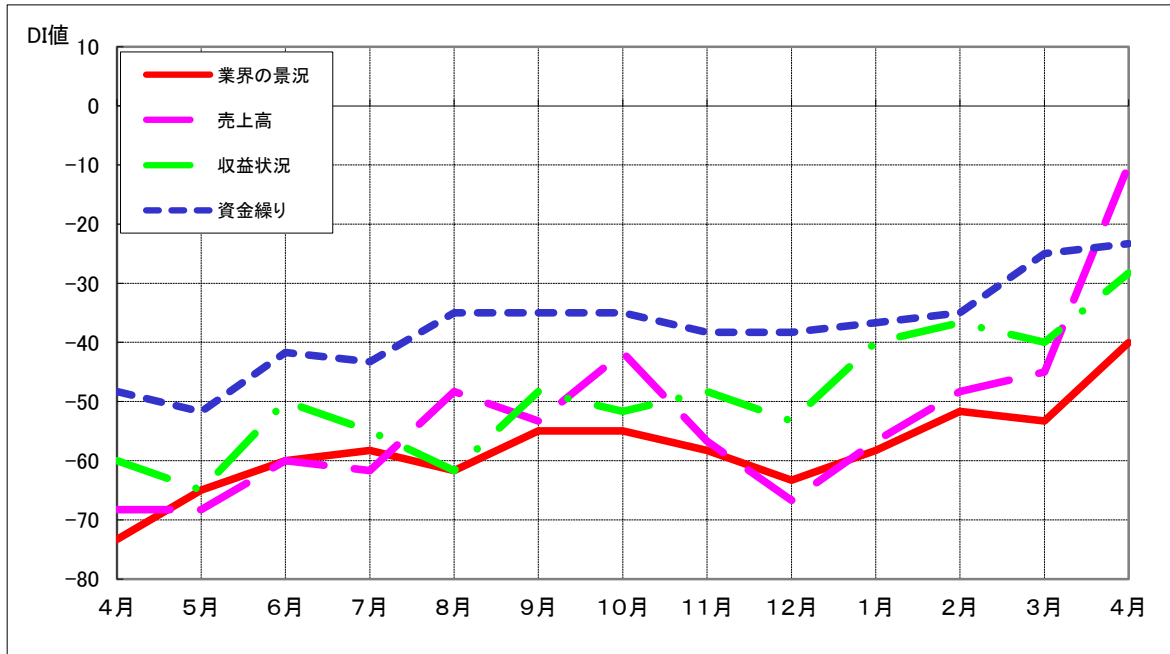


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年4月～令和3年4月

単位:ポイント



	R2					R3							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3	-58.3	-51.7	-53.3	-40.0
売上高	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7	-56.7	-48.3	-45.0	-10.0
収益状況	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3	-40.0	-36.7	-40.0	-28.3
資金繰り	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3	-36.7	-35.0	-25.0	-23.3

4月のDI値は前月と比べ、4項目全て改善となった。「売上高」DI値は35.0ポイント、「業界の景況」DI値は13.3ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイントそれぞれ改善した。前年同月比においても全項目で改善し、「売上高」DI値は58.3ポイント、「業界の景況」DI値は33.3ポイント、「収益状況」DI値は31.7ポイント、「資金繰り」DI値は25.0ポイントそれぞれ改善した。

特に売上高の大幅な改善が見られ、令和2年度において売上高は平均-56.3と大きく落ち込んでいたが、当月は-10と製造業、非製造業の両方で売上高の改善が見受けられた。一方で製造業では材料価格の値上げの動きが見られ、収益面での回復を阻害している。また、業種別では建設業や繊維・同製品業では売上に改善は見られず、引続き厳しい状況が続いている。

全項目に改善は見られるが、新型コロナウイルス感染者再拡大の影響等を踏まえると引き続き経済対策や給付金の条件緩和等の支援が求められる。

組合からの特記事項としては、4月に再度発令された首都圏を中心とした緊急事態宣言による売上の減少を懸念する意見が多く寄せられた。商店街ではゴールデンウィーク期間中の大規模イベント等については昨年に続き今期中止となっているが、感染防止対策を行った上で小規模のイベントを開催する等の動きが出ている。

また、専門料理店業、一般乗用旅客自動車運送業からは県内の新型コロナウイルス感染者増加に伴う、飲食店への営業時間の短縮要請や20時以降の酒類提供自粛が影響し、売上減少等の大きな影響が見られた。